

表象文化論学会

第15回研究発表集会

THE ASSOCIATION FOR STUDIES
OF CULTURE AND
REPRESENTATION

シンポジウム

線画の教育Ⅱ教訓

キャラとイラストの表象文化論



線画の教育Ⅱ教訓
キャラとイラストの
表象文化論

かつて非難の語であったゴシックやバロックが時代様式の名として定着したことを思えば、わたしたちはいま、のちに「キャラクター様式」と呼ばれることになる時代を生きているのかもしれない。メディア・ミックスと動画配信サービスが視聴覚経験の中核を担う新たな局面において、哲学や人類学でも議論の絶えない「人間(像)」とも深くかわるキャラクターをいかに思考すべきか。表象文化論学会は、これまでもアニメーションやマンガについて多くの議論を交わしてきたが、本シンポジウムでは、キャラクターの制作(デザイン)を歴史のなかで据え直す。解剖図やカリカチュア、アカデミズムと現代の美大教育を往還しつつ、補助線としてイラストレーションという問題系を設けることで、この文化現象を議論したい。キャラクターはいかにしてイラストレーションに宿ってきたのか。

登壇者——小田隆

田中祐理子

松下哲也

森田直子

司会——鯖江秀樹

京都精華大学
神戸大学
京都精華大学
東北大学

2021.12.4 sat-5 sun

ZOOMによる
オンライン開催



表象文化論学会

第15回
研究発表集会
プログラム

the Association for Studies of Culture and Representation

2021.12.4 [土]

9:00-11:30

研究発表1

精神分析理論への同性愛の
可能な包摂のための
前提的問題について

——J・ラカンの議論を手がかりに
原和之（東京大学）

ジュディス・バトラーの
パフォーマティヴィティ概念の起こり

——現象学からジェンダー・パロディへ
青本柚紀（東京大学）

レーヴィットを読み、
乗り越えようとするクロソウスキー

——《神トイウ悪循環》なる演技空間の
原理とその実現
山崎雅広（京都大学）

重力の詩学

——古井由吉とシモース・ヴェイユ
今村純子（立教大学）

司会 | 佐藤嘉幸（筑波大学）

9:00-11:00

研究発表2

ナンシー・ホルト《暗黒星の公園》
(1979-84)における記念碑的性格

——地域住民の経験に着目して
松本理沙（京都大学）

物語に包摂されざる断片

——高松次郎《THE STORY》
大澤慶久（東京藝術大学）

真実と詐術

——ロジェ・ド・ピールの絵画論における
「技巧」をめぐる

村山雄紀（早稲田大学）

司会 | 平倉圭（横浜国立大学）

13:00-15:00
ワークショップ1

誰が「決める」のか

——即興演劇の上演形式「The Bechdel
Test」における主人公像の協働構築の方法
園部友里恵（三重大） 直井玲子（東京学芸大学）

研究発表3

1950年代の小津安二郎・
成瀬巳喜男監督作品における
喫煙シーンと女性像
早川唯（筑波大学）

写真を編み直す

——写真の経年変化と
アルバム化・資料化の一例
榎本千賀子（新潟大学）

1990年代の時代劇にみる
イレズミ表象とその受容

——ドラマ『遠山の金さん』の表現に対する考察
大貫菜穂（京都芸術大学）

司会 | 滝浪佑紀（立教大学）

15:30-17:30
シンポジウム

線画の教育=教訓(レッスン)

——キャラとイラストの表象文化論
小田隆（京都精華大学） 田中祐理子（神戸大学）
松下哲也（京都精華大学） 森田直子（東北大学）

司会 | 鯖江秀樹（京都精華大学）

場所 | 京都精華大学木野キャンパス
黎明館L201

キャンバスマップ
<https://www.kyoto-seika.ac.jp/about/map/index.html>

*シンポジウムについて学会員向け注意事項
シンポジウムは上記会場で開催し、ウェビナーにより中継されます。来場も可能ですが、感染症対策のため、会場の収容人数は100名程度に限定されます。他の企画はすべて遠隔にて実施されます。また観光シーズンとも重なることもあり、会員にはオンラインでの参加を推奨することとします。

2021.12.5 [日]

10:00-12:30

研究発表4

今村太平と「音画的原形質」

——アニメーションにおける
「原形質」の感覚横断性の再検討
オウケイカイ（立命館大学）

物音と言葉

——リチャード・フライシャー『ラスト・ラン』の
音響設計
早川由真（立教大学）

現代映像芸術の
スクリーン・プラクティス

——2021年に開催された3つの展覧会を中心に
馬定延（関西大学）

アントナン・アルトーの俳優論再読

——新しいスペクタクルのために
吉水佑奈（神戸大学）

司会 | 仁井田千絵（京都大学）

13:00-15:00
ワークショップ2

ダストン/ギャリソン『客観性』を読む

岡澤康浩（京都大学） 増田展大（九州大学）
細馬宏通（早稲田大学）

司会 | 大久保遼（明治学院大学）

16:00-18:00
書評パネル

宮崎裕助

『ジャック・デリダ 死後の生を与える』

宮崎裕助（専修大学） 柿木伸之（西南学院大学）

清水知子（筑波大学） 乗松亨平（東京大学）

司会 | 大橋完太郎（神戸大学）

zoomによるオンライン開催
会員・非会員とも無料。要参加登録。
登録は公式サイトから
<https://www.repre.org/>



*プログラムは予告なく変更されることがあります。
詳細及び最新情報は表象文化論学会ホームページ (<http://www.repre.org/>) をご覧ください。

問い合わせ先

表象文化論学会第15回研究発表集会実行委員会

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学総合文化研究科表象文化論研究室内

FAX 03-5454-4336 E-mail kikaku@repre.org URL <http://www.repre.org>